

6月は  
環境月間



エコアちゃんと一緒に実践しよう  
今日からできる  
「エコ」な暮らし

問い合わせ  
環境都市推進課 ☎(8888)5708

### ごみが出ないライフスタイルをめざそう！

普段の生活のなかで無理なく続けられること、ちょっとした心がけでできることが、継続するためのポイントです。美しい環境を次の世代へ残すため、できることから取り組み、エコなライフスタイルをめざしましょう。

#### 買い物のときは

- 買う前に本当に必要かどうか考える
- マイバッグを持って行き、レジ袋は断る
- ごみになるものは無料でももらわない
- ごみが少ない詰め替え商品やリサイクル製品を選んで買う
- トレーに乗っている食品は選ばないようにする
- 過剰な包装は断る

#### 物を大事に、 使い捨てを減らす

経済的なマイボトル♪



- マイボトルやマイカップを利用する
- 物を大事に修理しながら長く使う
- 期間限定や使用頻度の少ないものは、必要時にレンタルする方が経済的

#### 例えば

- 使わない服やおもちゃは、フリーマーケットに出したり、リサイクルショップを利用したりして、再利用してもらう
- 使い捨てではなく、繰り返し使えるものを選ぶ
- 使い捨てカイロ→充電式カイロ  
お弁当用アルミカップ→シリコンカップ  
食品用ラップ→保存用容器

#### 食べ物を大切に、生ごみを減らす

- 食材が無駄にならないよう、冷蔵庫を整理し、在庫管理を行う
- 在庫を確認してから、食べきれる分だけ購入する
- 買った物の際、すぐ食べる場合は、列の手前の消費期限が近いものを選ぶ
- 消費期限・賞味期限を正しく理解し、賞味期限を過ぎててもすぐに捨てずに、自分で食べられるか判断する



### ごみ減量 ワンポイント

確かめよう！  
消費期限と賞味期限

お店で買った食品には、安全に安心して食べられる期間があり、袋や容器に、消費期限か賞味期限が表示されています。

その違いを知って、健康を守るとともに、いつまで食べられるか確かめるようにすれば、食べ物をむだにすること(食品ロス)を防ぐことができます。

#### 【消費期限】

期限を過ぎたら食べない方がいいです

袋や容器を開けないままで、書かれた保存方法を守って保存していた場合に、この年月日まで「安全に食べられる期限」のこと

例：おにぎり、お弁当、生めん、ケーキなどのいたみやすい食品

#### 【賞味期限】

おいしく食べることができる期限

袋や容器を開けないままで、書かれた保存方法を守って保存していた場合に、この年月日まで「品質が変わらずにおいしく食べられる期限」のこと。これが過ぎてても、すぐ食べられなくなるわけではありません

例：スナック菓子、カップめん、チーズ、缶詰、ペットボトル飲料など



(農林水産省ホームページから抜粋)



# ホッホッ ホタル来い! ホタル情報を お寄せください!

市では今年度、「ホタルマップ」の最新版を作成します(5年ごとの改訂)。そのため、みなさんからホタルに関する情報を募集していますので、ホタルを見かけた日時・場所などを「ホタル観察シート」に記入し、8月末までにご提出ください。

環境総務課 ☎(888)5705

## 観察シートの配布場所(提出先)

▶環境総務課(市役所3階) ▶各市民サービスセンター ▶金足地域センター ▶各地区コミュニティセンター

※市ホームページの「ホタル観察シート」入力フォームから提出することもできます。広報ID番号 1020751

## ホタル観察のポイント

秋田市内では、6月中旬から8月上旬までの晴れか曇りの風のない日、夜8時~9時頃が見頃です。

### 【ゲンジボタル】

体長▶15~20ミリ 模様▶赤い背中に黒い十字形 発光▶約4秒に1回

観察期間▶6月中旬~7月中旬

### 【ヘイケボタル】

体長▶8~10ミリ 模様▶赤い背中に黒いたて筋 発光▶1~2秒に1回

観察期間▶6月下旬~8月上旬

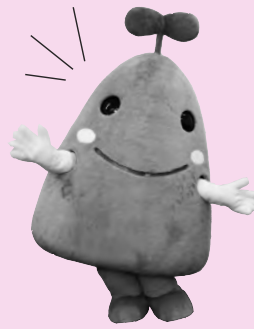
## ホタル観察会へどうぞ 参加無料

日時 6月28日(金)・29日(土) 19:30~20:40 先着各50人

会場 山内松原公民館と周辺水路 (現地集合・解散)

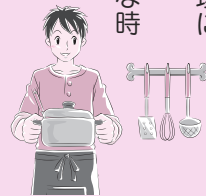
ホタルの生態を学ぶ講座のあと、周辺の水路で観察します。雨天時は講座のみ開催。小学生以下のお子さんは保護者同伴でお越しください。

申し込み 6月10日(月)8:30から 環境総務課 ☎(888)5705



4・5ページの  
チェック項目「□」は  
今日から実践できるよ!  
みんなでトライ!  
エコな暮らし

- 野菜、果物などがいたみにくいよう、ビニール袋に入れる、新聞で包むなど、それぞれ保存方法に従って保存する
- 適量を調理する(料理を作り過ぎない)
- 野菜の皮や芯も、きんぴらにしたり、みそ汁に入れたりして食べきる
- 残ったおかずは別の料理に作り直して食べきる
- 食材や料理が残りそうな時は、冷凍保存する
- 食べ物を大切に思い、よく食べきる
- 外食の際も、自分に合った量を意識して注文する。小盛りメニューやハーフサイズメニューなどの利用も◎
- 生ごみを捨てるときは、ギョツとしばらく水切りするか、一晩置いて乾燥させてから捨てる



## 正しく分別、リサイクル

- 古紙や空きびん、空き缶、ペットボトル、金属類など正しく分別し、それぞれの収集日にごみ集積所に出す
- 古紙は、新聞、ダンボール、紙バック、雑誌・雑がみに分け、それぞれ紙ひもで束ねてから出す
- トイレットペーパーの芯、ティッシュやお菓子の空き箱、使用済みの封筒なども「雑がみ」に分別し、資源集団回収や古紙の日によりサイクルに出す



## 減量目標! 1人1日あたり480g

市では、家庭系ごみ(資源化物・水銀含有ごみを除く)の減量目標を、2025(令和7)年度までに、1人1日あたり480gとしています。昨年度は505gでした。目標まであと25g。これは100円玉5枚分とおよそ同じ重さです。

各月の数値は、広報あきたでも随時表紙に掲載しています。引き続き、ごみ減量にご協力ください!

## 電気式生ごみ処理機の購入に補助

さらなるごみ減量のため、電気式生ごみ処理機の購入費に対し、半額(上限3万円)を補助します。購入前に申請が必要です。申請受付は7月1日(月)から。詳しくは、改めて広報あきたでお知らせします。